

MicroPatent® Worldwide PatSearch: Record 276 of 899

[no drawing available]



JP04167624
CODE CONVERSION METHOD
NIPPON COLUMBIA CO LTD
Inventor(s): ;KOIZUMI TOSHIO
Application No. 02072525 , Filed 19900322 , Published 19920615

Abstract:

PURPOSE: To reduce a bit rate and a communication cost by performing the code conversion of an EFM modulation signal.

CONSTITUTION: The EFM modulation signal comprised of a mark and a space interval is converted to a variable length code of bit length less than that of the signal, and also, a bit string identifiable from a code string converted at a time when the number of converted codes arrives at a prescribed number is inserted. In other words, as for the EFM demodulation signal comprised of the mark off one bit length and the space interval, three and four bit length intervals are converted to specific two bit codes, respectively, and five to seven bit length intervals to specific three bit codes, respectively, and eight to eleven bit length intervals to specific five bit codes, respectively. Thereby, it is possible to reduce mean bit length, and to shorten transmission time, and to reduce the communication cost.

COPYRIGHT: (C)1992, JPO&Japio

Int'l Class: H03M00506

MicroPatent Reference Number: 001597872

COPYRIGHT: (C) JPO



For further information, please contact:
[Technical Support](#) | [Billing](#) | [Sales](#) | [General Information](#)

⑫ 公開特許公報 (A) 平4-167624

JP04167624

⑬ Int. Cl. 5

H 03 M 5/06

識別記号

庁内整理番号

7259-5 J

⑭ 公開 平成4年(1992)6月15日

審査請求 有 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 符号変換方法

⑯ 特 願 平2-72525

⑰ 出 願 平2(1990)3月22日

⑱ 発明者 小泉 利雄 神奈川県川崎市川崎区港町5番1号 日本コロムビア株式会社川崎工場内

⑲ 出願人 日本コロムビア株式会社 東京都港区赤坂4丁目14番14号

⑳ 代理人 弁理士 石井 康夫

明細書

1. 発明の名称

符号変換方法

2. 特許請求の範囲

マーク、スペース区間から構成されるE F M変調信号を、それより少ないビット長の可変長符号に変換するとともに、変換された符号の数が、所定数となった時点において、変換された符号列と識別可能なビット列を挿入することを特徴とする符号変換方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、符号変換方法、特に、3~11ビット長のマーク、スペース区間から構成されるE F M変調信号を、異なる信号に変換する符号変換方法に関するものである。

(従来の技術)

従来、3~11ビット長のマーク、スペース区間から構成されるE F M変調信号は、コンパクトディスク(C D)に記録するために用いられて

る。この信号は、サブコードデータ、デジタルオーディオデータ、パリティデータからなるN R Z原信号に同期信号を付しながらE F M変調を行なっているもので、

$$T = \frac{1}{4.3218 \times 10^6} \quad [\text{秒}]$$

を単位ビット長として3 T~11 Tから構成されるマーク、スペース列から構成されている。第2図は、その信号の一例を示すもので、21は単位ビット長の4.3218MHzの信号で、22はE F M変調信号である。E F M変調信号のマーク、スペースの長さは、単位ビット長に対して、3~11倍の長さである。したがって、この信号をデジタル伝送するためには4.3218Mb/Sの伝送容量を持つ伝送路を必要とする。しかしながら、例えば、I N S 1 5 0 0 を利用してこの信号を伝送しようとすると、I N S 1 5 0 0 は、192ビット(24バイト)を1フレームとして、1秒間に8000フレームを伝送するものであり、

$$192 \times 8000 = 1.536 \quad [\text{Mb/S}]$$

きつ別の符号を1
例えば、新しい
ビット長を与
実施例では、0
ビット長を与
と、EFM変調

ア株式会社
夫

記憶する場合にも、記憶容量の減少を図ることが
できる効果がある。 4-167624
2-72525

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明の一実施例を説明するための
符号変換方法の説明図、第2図、第3図は、EFM
変調信号の説明図である。

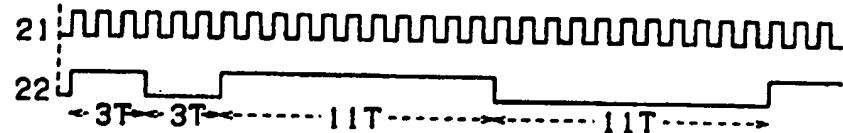
21…単位ビット長の信号で、22…EFM変

BEST AVAILABLE COPY

第1図

順	出現確率	第1回分割	第2回分割	第3回分割	第4回分割	第5回分割	長さ	符号
3	0.3676) 0) 0				2	00
4	0.2132) 0) 1				2	01
5	0.1471) 0) 0			3	100
6	0.09926) 0) 1			3	101
7	0.07353) 0			3	110
8	0.03676	1		1) 0) 0	5	11100
9	0.02574		1) 0) 1	5	11101
11	0.02206			1) 1) 0	5	11110
10	0.01471) 1) 1	5	11111

第2図



第3図

